

## ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、2021年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、〈なかしん〉に対するご理解を一層深めていただければ幸いです。

さて、昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が日本経済に大きな影響を与える状況が続きました。秋にはワクチン接種の普及や感染防止対策により感染状況は小康状態となり、経済活動も回復に向かっていましたが、年明け以降、感染力の強いオミクロン株の感染拡大により再び全国にまん延防止等重点措置が発令されるなど、地域にも多大な影響を与える状況が続きました。また、年度末にかけては、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格の高騰が、消費者や中小事業者の経営に大きな影響を与えました。

このような環境下ではありましたが、当金庫はおかげさまで皆さまからは変わらぬご支援を賜り、当期純利益1,134百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は26.86%となり、自己資本額も567億円となりました。引き続きご安心いただけるものと思います。

2022年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続く中で、ロシアのウクライナ侵攻による燃料や原材料、食品などの輸入品価格の高騰が続く、地域経済には厳しい状況が続くことが予想されます。コロナ禍等で地域経済が大きな影響を受けた状況のもとでは、地域経済の回復やお客様の成長・発展に向けた取組みに対して支援を行い、信頼関係をより深めていくことが何よりも重要であると考え、積極的に取り組んで参ります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

2022年7月



理事長 足立厚郎

# あなたとまちと フェイス to フェイス

